

## 令和5年度

# 清水特別支援学校 交流及び共同学習だより No.1

～ 今回は小学部の交流及び共同学習についてお知らせします ～

### 交流及び共同学習とは？

「交流及び共同学習」は、共生社会の基盤づくりとなる重要な教育活動です。学校で行う交流及び共同学習は、全ての子ども達の経験を深め、社会性を養い、豊かな人間性を育むとともに、お互いの存在を尊重し合うことの大切さを学ぶ機会となります。同じ社会に生きる仲間として、お互いを正しく理解し、共に助け合い、支え合って生きていく豊かな心を育てていくことは、社会における心のバリアフリーの実現に向けて大きな意義があります。



### 学校間交流とは？

「学校間交流」は、交流及び共同学習の形態の一つで、特別支援学校と地域の小・中学校、高等学校の児童生徒が行う交流です。有意義な交流になるよう、交流のねらいや活動内容などを学校間で検討して計画的に進めています。



## 清水東小学校、清水南小学校との学校間交流の御報告

小学部では、7月4日(火)に清水南小学校と、10日(月)に清水東小学校との学校間交流がありました。昨年度は感染症拡大防止のため、遠隔システムを活用した交流でしたが、今年度は本校を会場に直接交流を行うことができました。卓球バレーやラダーゲッターなどのニュースポーツを楽しみました。

### 事前学習

#### (本校での事前学習)

事前学習では、交流のスケジュールやペアの友達をスライドで確認しました。また、自己紹介カードを作り、ペアの友達に自分の好きなことを伝える準備をしました。

#### (清水東小学校・清水南小学校の児童に向けて)

交流の前に本校教員が両校へ出向き、授業を行いました。担任の先生の交流学習に対する思いをお聞きし、両校のねらいが達成できるよう、授業の打合せを行いました。両校の児童達には、これから様々な経験を重ね、豊かな心を育ててほしいと思います。出前授業や交流及び共同学習がその一つとなるよう、地域の児童達に理解啓発を行うことは本校の大切な役割です。



本校の授業で使用しているユニバーサルデザインの楽器(押すと音が出るハンドベル)を紹介し、児童達に体験してもらいました。

「特別支援学校はどんな学校？」  
「目が見えない友達がいるの？」  
など、児童達の素朴な疑問に答えながら本校の紹介をしました。



交  
流



はじまりの会の後、少し緊張しながらの自己紹介。みんなでパラバ  
ルーンをすると、少しドキドキが和らいだようでした。



体育館へ移動し、ニュースポーツを楽しみました。「次は何がしたい?」「おいっ!!」「やっ  
たー」など、にぎやかな声が体育館に響き渡りました。ペアで順番を守ったり、ボールを渡し合っ  
たりしながら時間いっぱい遊びました。全コーナーを制覇したペアもありました。



「がんばれ〜」



「シールいっぱい、たまったね」



「どこに行こうかな〜?」



「8点!!」



「ねらって〜!」



「いくよ〜!!」



「それっ!!」



「どうぞ」「ありがとう♪」



「まけないぞ〜」

「次は、ぼくたちが行くからね」



事  
後  
学  
習

本校では、交流の写真をスライドで振り返ったり、写真を貼って掲示物を作ったりして事後学  
習を行いました。清水東小学校、清水南小学校の児童達は、ワークシートを活用して交流の感想  
を書くことで振り返りを行いました。両校の児童達の感想に本校の教員がコメントを返し、秋に  
予定している2回目の交流へつなげていく予定です。